

会 議 録

会 議 名	第20期小金井市公民館企画実行委員の会議 第15回		
事 務 局	公民館貫井南分館		
開 催 日 時	平成21年11月6日(金) 午前9時30分～正午		
開 催 場 所	公民館貫井南分館学習室C		
出 席 委 員	安部まり子委員、伊藤清委員、瀬上ゆき委員、妻木誠二委員、松浦妙子委員		
欠 席 委 員	前川正治委員		
事 務 局 員	松本浩明主査、渡邊正志、山崎光昭		
傍 聴 の 可 否	可	傍聴者数	なし
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	<p>1 公民館運営審議会の報告(10月23日開催)</p> <p>2 公民館研究大会について</p> <p>3 平成22年度予算について</p> <p>4 各講座の報告と計画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者学級「けやき学級」、市民講座、成人学校「旧東ドイツ」、市民講座「映像でつづる昭和の歴史」 <p>5 その他</p> <p style="padding-left: 2em;">音楽鑑賞のつどい他</p> <p style="margin-top: 20px;">次回の日程について</p> <p style="padding-left: 2em;">平成21年12月1日(火) 午前9時30分～</p>		

審議経過（主な発言要旨等）

1 公民館運営審議会の報告（10月23日開催）

- (1) 東京都公民館研究大会企画委員会（10月16日開催）について
会場とその割り振り方の説明。参加者の把握と会場決定は次回。
- (2) 第20期小金井市公民館企画実行委員の追加委嘱について
3人が立候補。3人とも緑分館を希望したが、調整の結果一人は本館へ。任期は平成22年7月20日まで。
- (3) (仮称) 貫井北町地域センター建設について
事業計画が決定。延べ面積2000㎡、公民館部分500㎡、他に図書館、青少年施設を併設。年内に庁内検討委員会が発足（第1回は10月27日）、来年中に基本設計市民検討委員会を立ち上げ、公民館運営審議会からも委員選出の予定。平成25年初めに着工、同年末に竣工、平成26年4月に開館予定。
- (3) 公民館事業の報告
貫井南分館からは、成人学校「子育てって、すばらしい」を提出、募集人数に対し、応募人数が少なかった理由と報告書の中にポスター掲示等がされていないがどうしてかとの質問があり、掲示等広報は行ったが応募数については不明と回答した。
- (4)
 - ア) 三者懇談会（公民館運営審議会委員、図書館協議会委員、社会教育委員）は、来年度から年2回開催する。今年度は例年通り1回（11月16日開催予定）とする。
 - イ) 三者合同研修（公民館運営審議会委員、企画実行委員、職員）を2月2日開催予定。企画案についてのアンケート結果から、「建築家から見た公共空間の創造」に決定。詳細は逐次連絡する。
- (4) 公民館事業の計画
貫井南分館からは、成人学校「旧東ドイツ」・「淹めぐり」、音楽鑑賞のつどい「民族楽器・ツイター」を提出し、質疑なし。

次回、第3回審議会は、11月27日（金）午後1時30分～3時、本館にて。

2 公民館研究大会について

11月2日（月）に助言者の朝岡幸彦先生（東京農工大学教授）に、企画委員の狛江市公民館職員と共に合ってきた。先生から解決策までは導き出せないとのアドバイスにより以下のとおり変更することになった。

- ① テーマ（仲間づくりで元気な街を）に結びつくことの実践を、自己紹介とともに5分くら

- いで一人ずつ話してもらい、それをメンバーで共有化する。→模造紙に書き出す。
- ② キーワードを一人10個位出してもらい、短く説明してもらおう。→模造紙に書き出す。
 - ③ ②をグループ化する。
 - ④ テーマに即したアイデアを出し合う。→模造紙に書き出す。

上記の変更点を次回最終11月20日（金）の企画委員会で確認する。また、企画委員が各グループへ入るが、グループ編成の際にベテラン職員の配置を考慮しなければならない。また、元気な街づくりをどう捉えるかが難しいので、公民館がどう関わられるかを外すと変な方向へいってしまう可能性がある。

3 平成22年度予算について

公民館の人件費が全体的に減っている状況の中で、なぜ、事業費を減らす必要があるのかとの意見もあったが、貫井南分館でも公民館全体の予算案を考慮し、前年度予算との比較しながら事業の見直し（スクラップアンドビルド）を考えた時に、子ども体験講座の応募状況と講師の先生（ぬくい会囲碁部）の減少、子どもたちはそれぞれ囲碁の会に所属していることで貫井南分館で囲碁を止めたとしても行き場がなくなることがないことから考慮し、来年度予算には計上しないこととする。成人学校を減らすことも考えたが、新しい企画実行委員が企画しやすい予算を残しておく必要があることから、成人学校は今年度と同様の規模とする。

4 各講座の報告と計画

○高齢者学級「けやき学級」

全23回のうち、20回を終了しており、残り3回となり、11月25日には最終回として閉校式（打ち上げ）を迎える。打ち上げを行うに際して、飲み物、お菓子等を用意するために学級生から500円を次回11日に集めることとする。主に懇談を行い、班長、副班長の感想の他、新人の方からも感想を述べてもらう。また、来年度に向けての準備会（市報掲載も行う）のお知らせを行う。

○成人学校「旧東ドイツへの旅」

現在、定員30人のところ38人の応募があった。但し、スポット的に参加する人の応募が多かった。中には頼まれたからとの方もいたので少々困惑している。費用500円の扱いについては、スポット的な参加者もいるため、初回、2回目はドイツのコーヒーを出すことから100円とし、3回目はケーキを出すことから300円を集め、全回（3回）出る方については初回に500円を集めることとする。

○市民講座「映像でつづる昭和の歴史」

全5回のところ3回を終了したところであるが、平均参加人数は20名である。映像を見ながら、講義、その後質疑応答を行っているが、講義も分かりやすく受講者に好評である。質疑応答も活発であり時間を超えてしまうこともあった。但し、講師の帰る手段がバスしかなく、バスの時刻が午後8時3分であるため、受講者にはその旨了承をえたので、講座を5分前に終了することとする。

3 その他

○音楽鑑賞のつどい「民族楽器・ツィター」

12月19日（土）に実施予定。市報12月1日号で12月2日からの応募となる。

○成人学校「江戸野菜に親しもう」

11月16日（月）に収穫祭を緑センターで行うので、企画実行委員全員の参加をお願いする。集合時間は、午前10時とする。家事実習室での調理を手伝い、その後、学習室で会食会を行う。司会は前川さんをお願いすることになる。松本は、午前中に研修があるため、正午からの出席となる。

○国際交流イベント「新春お茶席、初釜で交流」

1月16日（土）午後1～4時で実施予定。市報1月1日号。講師は、前年度の佐野晃弘さんをお願いする。

○成人学校「リフレッシュ・ヨーガ」

1月15日・22日・29日、2月5日のいずれも金曜日の午後10時から正午を予定。講師の先生は前年度の伊藤のぶ子さん。床に敷くマットをどうするかを検討する。

○成人学校「歴史と文学散策」

3月9日（火）実施予定。2月に実踏予定。

○成人学校「身体はいつでも鍛えられる」

2月12日・19日・26日のいずれも金曜日、午前10時から正午を予定。

次回の会議日程は12月1日（火）